



佐倉市立上志津中学校

泰山木



H26.1.31
発行責任者
山口 俊久

在籍数	
1年生	108名
2年生	115名
3年生	115名
計	338名



☆春遠からじ!☆

校長 山口 俊久

まだまだ寒い日が続いていますが、外掃除をしていると春が一步步近づいて来ているのを目にします。それは、木々に蕾が見られ、綿毛の出ている物もあります。二月四日は立春です。例年この頃に寒波が訪れたりしますが、さて今年は…。

この時期はインフルエンザが流行します。一般的に防止には『うがい・手洗い』と言われていますが、お医者さんにアンケートをとったところ、防止対策の一番は『手洗い』だそうです。体のなかで、汚い場所は何にでも触れてしまう手ですから、納得できますね。手を清潔にしましょう。洗った後は、ハンカチで手を拭きましょう。本校は、ハンカチを持参していない生徒が本当に多いです。感染防止とマナーの点でもハンカチは携帯しましょう。十分に睡眠をとり、きちんと食べ、温かい服装を心がけてほしいです。寒いのに体操服のズボンを履かない（ハーフパンツで）・上着を着てこない生徒もいます。また、靴下も短い物を履いていますから、体は冷えますよね。自分の健康管理と同時に、周りの人にも影響を及ぼす危険があることを気にしてほしいです。今年は、ノロウイルスや感染性胃腸炎が流行しています。『手洗い』お願いしますよ！

さていよいよ二月に入ります。三年生は公立高校の前期試験が迫ってきました。私立高校に内定した生徒もいますが、これから公立高校を受験する人たちの支援をし、受験という壁をみんなで突破しましょう！

一・二年生は「予餞会」に向けての練習が熱をおびてきます。また月末には、今年度最後の定期テストも控えています。気持ち良く、今年度を終わりたいですね。そのためには、どうしたらいいのか？「勉強を頑張りたい！」って多くの人が言っていたよね。この寒さを越せば、暖かい春がやってくるから。

『生き方上手』から

著：日野原 重明 聖路加国際病院理事長

才能というものは、誰のなかにも無限に眠っていて、花開く瞬間を待っているのだらうと私は思っています。にもかかわらず、私たちは自分の可能性をこのほか低く評価してしまつて、本来出せるはずの力に、いつも大きな余力を残したままなのです。

よくたとえられますが、せっかくの才能という種子も、よい土壌に恵まれなければ、芽も出ず、花も咲きません。種の質も重要ですが、質はおしなべて上々、つまり環境次第ということですね。

経済的な豊かさや育った環境、あるいは病身であるとか年齢である、という外的な環境は、自分の意思だけでよくすることは困難ですが、内なる環境、いわゆる心のありかたは自分の努力でいかようにでもできます。チャンスをものにする気構えがあれば、才能が開花する可能性は十分にあるというわけです。

限りなく無限の可能性を秘めている我々、特に生徒のみなさん。本の中にも書いてあるように、今すぐに才能が開花するとは限りません。その可能性を信じ、やっぱり勉強を頑張ることと、人間として心の土壌を耕し続けてほしいと思います。

★★2月の行事予定★★

3日(月)	公立高校前期選抜出願
4日(火)	新入生保護者説明会
5日(水)	3年県標準学力検査
12日(水)	公立高校前期入試1日目
13日(木)	公立高校前期入試2日目
17日(月)	避難訓練
19日(水)	公立高校前期結果発表
21日(金)	新入生体験入学
	公立高校後期選抜出願
27日(木)	第4回定期試験1日目
28日(金)	第4回定期試験2日目
	公立高校後期入試



堂々とした発表でした、小中合同学習発表会

一月二十二日(水)、酒々井プレミアムホールと佐倉市民音楽ホールで佐倉市・酒々井町小中学校、特別支援学級児童生徒『学習発表会』が開かれました。本校は音楽ホールでした。

合唱や合奏、劇やダンス・組体操・和太鼓、なかにはマジックショーを発表した学校もありました。

本校は、下志津小学校・南志津小学校の児童と一緒に「思い出のアルバム」という劇を行いました。合同で練習する機会は少なかったのですが、みんな堂々と演じることができました。

本校生徒は、六月のキャンプでのフォークダンスの場面をユーモラスに演じ、会場に笑いを提供しました。二小学校の児童も可愛く・元気に演じてくれました。

本校生徒の優しさに助けられ、特別支援学級生徒は伸び伸びと成長してきました。これからも、今までと同じに、いっぱい声をかけてください。



職業人から学んだこと 一学年担当 渡邊 政幸

一月二十三日（木）五・六校時、一年生は、進路学習の一環として、社会で活躍されている方を学校にお招きし、仕事の喜びや大変さをうかがったり、体験をさせていただいたく「職業人に学ぶ」を行いました。今回は、理容師、消防士、幼稚園教諭、柔道整復師、看護師、キャビンアテンダント、調理師、ペットトリマーという職業の方々と講師にお願いしました。生徒は、八種類の職業の中から自分の興味・関心が深い講座を二つ選んで話を聞くことができました。

講師の先生方からは、「みんなが真剣に話を聞いてくれるので、とてもうれしかったし、話しがいがありました。」とお褒めの言葉をいただきました。後日、講師の先生へお礼の手紙を書きましたが、全員が真剣かつ丁寧に書くことができました。



講師の先生方から学んだことを今後の生活や人生に生かし、自分の将来の夢や目標を考える手立ての一つにしてほしいと思います。

【生徒の感想より】

●「継続は力なり」という言葉が印象に残っています。一日に同じことを何回もやるより、継続していったほうが良いという意味です。いい言葉だと思いました。（柔道整復師に参加）

●犬の毛を切るという仕事も大切だけど、お客さんと話すことも大切で、これはどの仕事でも大切だと思います。（トリマーに参加）

一人で悩まず、まずは相談を



昨年度から木曜日に上志津中学校にきています。相談室の場所は、プレハブの奥の教育相談室です。昼休みには、相談室を生徒に開放しており、多くの生徒が楽しく過ごしています。一年生全員との面接を実施して二年目になります。今年度の一年生とも面接も全員終了し、これで一、二年生の皆さんとは一人ひとりとお話することができました。三年生とは、給食の時間に訪問し、相談室利用のお話をしています。この時期は、受験生をお持ちのご家庭では、特に健康管理を宜しくお願いします。簡単な呼吸法を「相談室だより」に掲載しましたので、一緒に練習してみてください。

将来の入試や面接の際にも役立ちます。

相談室では相談内容については、秘密をお約束しています。保護者の皆様もお気軽にご利用下さい。予約は担任の先生、又は学校へ直接ご連絡ください。（スクールカウンセラー 臨床心理士 倉田佳代子）



教育相談室（プレハブ）

☆☆☆☆

上志津中では年三回、「先生と話をうけあう会（教育相談）」を設けています。二学期は話を聴いて欲しい先生と、一、三学期は担任の先生と生徒が話す機会を設けています。中学校生活は、悩みをもつて当たり前な時期です。悩みは人に聴いてもらうだけで、心が楽になったり、答えがみつかったりします。また、特に悩みがなくても、雑談の中で、興味のあることから将来の道が見えてきたり、気持ち明るくなったたりすることがあります。悩んだり、困ったり、人と話をしたいときは、一人で抱え込まず、相談期間以外でも、カウンセラーの先生、学校の先生、お家の方などに相談しましょう。

（教育相談担当 加瀬洋子）

お知らせ

冬休み明けの1月7日から、各階の廊下は生徒たちの書き初めで花が咲いたようです。今年の各学年の課題は、1年生「新春の朝」、2年生「富士の春風」、3年生「永遠の理想」です。地域の書家の青木さん、岡土さんが昨年にひきつづき審査を担当して下さいました。上手、下手だけでなく味のある文字や、堂々とした文字など個性豊かな書き初め展示となりました。



題字下写真：ALT（ニフ・ハッサン）による英語の授業風景

「なごみタイム」で和みの時間 図書担当 八谷 寧子

八時五分、シーンとなって朝読書が始まっています。これが毎朝の学級の始まりです。その中で、各学年、月に一度、地域のボランティアの方々による読み聞かせ「なごみタイム」を実施しています。

図書館司書の谷口先生の選書により、今年度は、「神様の森、伊勢」「わすれられないおくりもの」「じごくのそうべえ」「かさをささないシランさん」「桃源郷ものがたり」「おとうさんのちず」の本を読んでもいただいています。十分間ほどの短い時間ですが、教室や廊下には読み聞かせの音が響き、まさに「和みの時間」です。生徒たちも引き込まれるように聞き入っています。ボランティアの学年の生徒さんもととても静かに、真剣にしっかりと聴いてくれています。ありがとうございます。朝早くからの活動に、私たちこそ感謝の気持ちを伝えたいです。

